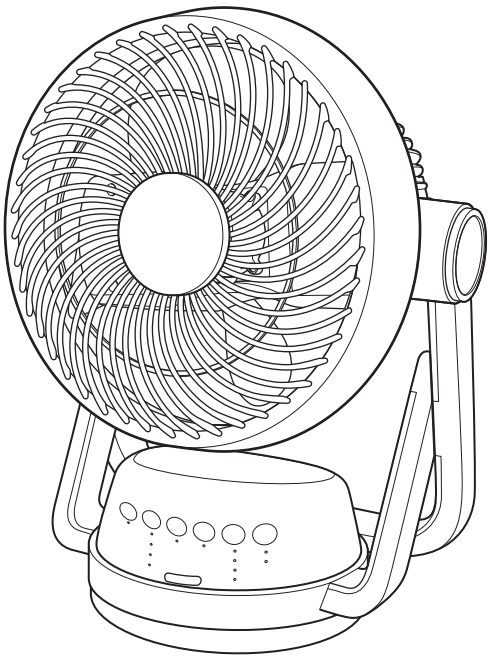
木目調DCサーキュレーター　FCY-193D

取扱説明書・保証書



　このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……P1～P2
各部の名称とはたらき……P3
使用前の準備……P4
正しい使いかた……P5～P10
お手入れと保存……P11～P12
修理・サービスを依頼する前に……P13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について ……P14
アフターサービスについて……裏表紙
保証書……裏表紙

仕　様

電　源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	約 21 W
電源コード長さ	約1.8 m
外形寸法	約 幅 27.5 × 奥行き 18.5 × 高さ 35.5 cm
質　量	約 2.2 kg (本体のみ、リモコン含まず)

● 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
● この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

株式会社ドウシシャ

1C23A

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 （物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。）

図記号の意味と例

	⃠は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「分解禁止」を示します。）
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。（左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。）

⚠警告

禁止	**交流100V以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。	禁止	**雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。** 感電の原因になります。	プラグを抜く	**使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	使用禁止	**異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。		**製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。	分解禁止	**分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。** 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。
	羽根とガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		**電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。** ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。自分で意思表示ができない人、自分で操作できない人は、使用しない・使用させない。 けが・感電の原因になります。		**お手入れ後、羽根とガードをしっかりと固定する。** 締め付けが不十分だったり、正しく取り付けられていないと、けが・故障の原因になります。	水ぬれ禁止	**水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。** ショート・感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		**リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときはこすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。** 失明や目に障害を負う恐れがあります。		

⚠注意

指示	**電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって抜く。** 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	禁止	**リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない。** 液もれや破裂・火災などの原因となります。	禁止	**髪をガードに近づけすぎない。** 髪が巻き込まれ、けがをする原因になります。
	リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		**風をからだに、長い時間続けてあてない。** 健康を害することがあります。		**次のようなところでは使わない。** **●コンロなど炎の近く** **●引火性のガスがあるところ** **●雨や水しぶきがかかるところ** 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		**本体を引きずらない。** 床が傷つく原因になります。		**お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。** 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		**ガードの中に指などを入れない。** けがの原因になります。		**首ふり動作中の本体を無理に正面に向けない。** 破損・故障・異音などの原因になります。
禁止	**リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。** 液もれなどの原因になります。		**不安定な場所で使わない。** けが・故障の原因になります。		**首ふり動作中に無理に向きを変えない。** 無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になります。
					手動で首ふり角度調節をしない。 無理に角度調節をすると、故障の原因になります。首ふり機能を使用してお好みの角度で止めてください。

各部の名称とはたらき

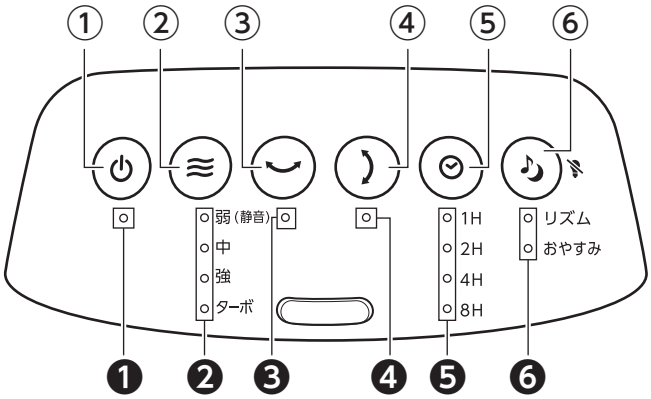
前面

センターバッジ
（アロマケース）
前ガード
羽根
ファン部
本体
操作部
リモコン受光部
ベース部

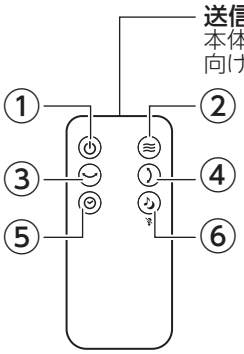
後面

取っ手
リモコン
収納部
後ガード
電源コード
電源プラグ

本体操作部



リモコン



① **電源ボタン**
運転の開始／停止をします。

② **風量ボタン**
運転中、風量を変更します。

③ **左右首ふりボタン**
左右首ふりの開始／停止をします。

④ **上下首ふりボタン**
上下首ふりの開始／停止をします。

⑤ **タイマーボタン**
入・切タイマーの時間を設定します。

⑥ **リズム／おやすみ風ボタン**
リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。
※長押しで操作部のランプが**消灯モード**に設定されます。

表示ランプ

❶ **電源ランプ**

❷ **風量ランプ（4段階）**
現在設定されている風量を表示します。
（弱（静音）、中、強、ターボ）

❸ **左右首ふりランプ**
左右首ふりをしているときに点灯します。

❹ **上下首ふりランプ**
上下首ふりをしているときに点灯します。

❺ **タイマーランプ（1H・2H・4H・8H）**
入・切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

❻ **リズム／おやすみ風ランプ**
リズム風、おやすみ風のとき、それぞれ点灯します。

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1個	フェルト（アロマケースに1個取付済）	4個
リモコン	1個	取扱説明書（保証書含む）	1個
コイン形リチウム電池(CR2032)	1個		

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

本体の設置

1. 本体を安定した水平な場所に設置する

前ガードが正しく取り付けられていることを確認してください。

⚠警告	**前ガードを取り付けずに運転をさせない。** 事故・故障の原因になります。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

ピッピッと音が鳴ります。

リモコンに電池を入れる

下記の手順で付属のコイン形リチウム電池を入れてください。

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。引き出しにくいときはツメをようじなどで内側に押しておくと引き出しやすくなります。

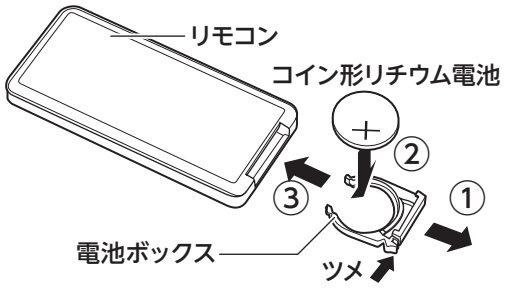
2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにコイン形リチウム電池を取り付ける②

電池の⊕側を上にして取り付けてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。

⚠注意	• **電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。** • **電池の⊕⊖は正しく入れる。** 故障や液もれの原因になります。 • **電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。** • **液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。**



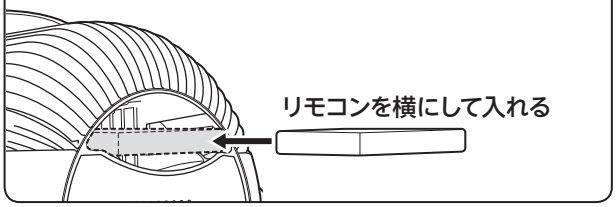
使用可能範囲

- 本体リモコン受光部正面から直線で約５m以内
- 本体リモコン受光部正面から左右に約30°以内

※リモコンと本体リモコン受光部の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。

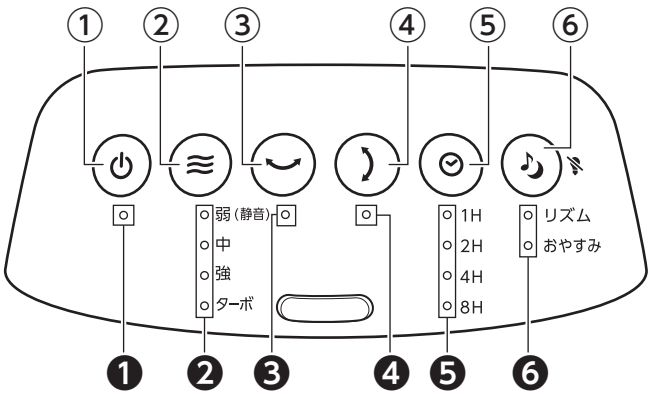
リモコン収納部

本体後面の取っ手の下の部分にリモコン収納部があります。リモコンを使用しないときは、リモコン収納部に入れておいてください。

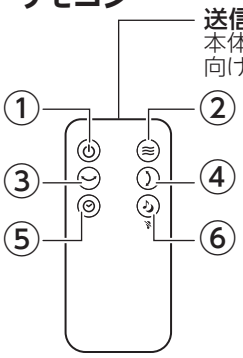


正しい使いかた

本体操作部



リモコン



① **⏻電源ボタン**
運転の開始／停止をします。

② **≋風量ボタン**
運転中、風量を変更します。

③ **左右首ふりボタン**
左右首ふりの開始／停止をします。

④ **上下首ふりボタン**
上下首ふりの開始／停止をします。

⑤ **タイマーボタン**
入・切タイマーの時間を設定します。

⑥ **リズム／おやすみ風ボタン**
リズム／おやすみ風機能の切り替えをします。
※長押しで操作部のランプが**消灯モード**に設定されます。

❶ **電源ランプ**

❷ **風量ランプ（4段階）**
現在設定されている風量を表示します。
（弱（静音）、中、強、ターボ）

❸ **左右首ふりランプ**
左右首ふりをしているときに点灯します。

❹ **上下首ふりランプ**
上下首ふりをしているときに点灯します。

❺ **タイマーランプ（1H・2H・4H・8H）**
入・切タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

❻ **リズム／おやすみ風ランプ**
リズム風、おやすみ風のとき、それぞれ点灯します。

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、ピッと音がして運転を開始します。

- 通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押したときには、弱（静音）、首ふりなしで運転を開始します。

メモリー機能
本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます（風量、左右首ふり、上下首ふり）。
※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。
［初期設定］風量：弱（静音）、首ふり：なし。

2. 風量を調節する

本体またはリモコンの≋風量ボタンを押して風量を調節してください。

- 本体またはリモコンの≋風量ボタンを押すたびに、ピッと音がして風量が順に強くなり、その風量ランプが点灯します。

→ 弱（静音） → 中 → 強 → ターボ →

減光モード

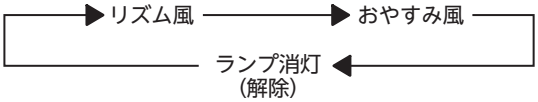
本体またはリモコンの操作をしてから約60秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モードになります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

消灯モード

本体またはリモコンの♪リズム／おやすみ風ボタンを長押し(3秒以上)すると、消灯モードが設定され点灯・点滅するランプを消灯させることができます。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに消灯モードが解除され、ランプは通常の明るさで点灯・点滅します。

3. リズム／おやすみ風機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの♪リズム／おやすみ風ボタンを押すと機能が切り替わります。



角度の調節

本機は手動で角度を調節することができません。
電源を入れて、首ふり運転機能で上下左右の角度調節をして、適切な風向きにしてください。

4. 首ふり運転を開始／停止する

上下・左右同時に首ふり運転をすることが可能です。
運転中に本体またはリモコンの 》上下首ふりボタンと〜左右首ふりボタンで切り替え、上下首ふりランプ、左右首ふりランプで確認することができます。

上下の首ふり

運転中に本体またはリモコンの 》上下首ふりボタンを押すと、上下首ふり運転を開始します。

- 正面から真上まで約90°の範囲で首をふります。
- 本体の 》上下首ふりランプで首ふり運転の確認をすることができます。
- ファン部のみが動きます。

もう一度 》上下首ふりボタンを押すと、上下首ふり運転を停止します。

上下首ふりの1回目は、本機内で現在の角度など確認するため、正しく首ふりを開始するまでに時間がかかります。かかる時間は、その首ふり開始角度によって変わります。

⚠注意	**壊れてしまうため、絶対にやらないこと** • **首ふり動作中に無理に向きを変えない。** 無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になります。 • **手動で首ふり角度調節をしない。** 無理に角度調節をすると、故障の原因になります。首ふり機能を使用してお好みの角度で止めてください。

リズム／おやすみ風機能について

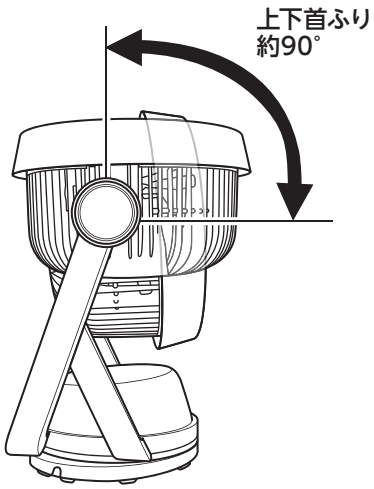
リズム風

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
本体またはリモコンの≋風量ボタンを切り替えることで風量パターンがターボリズム風・強リズム風・中リズム風・弱リズム風と変化します。

おやすみ風

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
本体またはリモコンの≋風量ボタンを切り替えると、次のように風量パターンが時間とともに変化します。

ターボ時	ターボリズム風 → 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。
強時	強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。
中時	中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。
弱(静音)時	弱リズム風 と同じです。



▶▶つぎのページにつづく▶▶

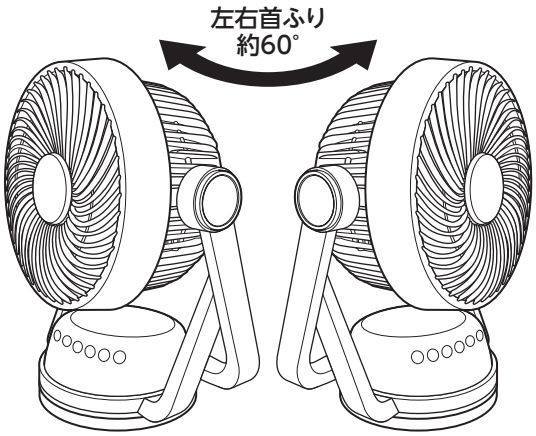
左右の首ふり

運転中に本体またはリモコンの〜左右首ふりボタンを押すと、左右に首ふり運転を開始します。

- 左右約60°の範囲で首をふります。
- ベース部より上の部分が動きます。
- 本体の左右首ふりランプで首ふり運転の確認をすることができます。

左右首ふりの1回目は、本機内で現在の角度など確認するため、正しく首ふりを開始するまでに時間がかかります。

- 左右首ふり運転を停止するときは、〜左右首ふりボタンを押して、左右首ふりランプが消灯したことを確認してください。



5. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの⏻電源ボタンを押すと、運転が停止します。

切り忘れ防止機能
最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

6. 電源プラグをコンセントから抜く

⚠警告	**使用後は電源プラグをコンセントから抜く。** 火災・故障の原因になります。

タイマーを設定する

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中に⏲タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押すと、タイマーランプが**点灯**し、切タイマーが設定されます。
切タイマーの動作時間は本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押して設定することができます。

- タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。
- ♪リズム／おやすみ風ボタンを押しておやすみ風を設定していると、切タイマーが作動するまで風量パターンが時間とともに変化します（「リズム／おやすみ風機能について」→6ページ）。

⚠注意	**壊れてしまうため、絶対にやらないこと** • **首ふり動作中に無理に向きを変えない。** 無理に向きを変えると破損・故障・異音などの原因になります。 • **手動で首ふり角度調節をしない。** 無理に角度調節をすると、故障の原因になります。首ふり機能を使用してお好みの角度で止めてください。

2. 切タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

入タイマーの設定

入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。

⚠注意	**入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。** 子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところや、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

1. 運転が停止している状態で、⏲タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押すと、タイマーランプが**点滅**し、入タイマーが設定されます。

- 直前に使用していた風量ランプが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（「メモリー機能」→5ページ）。

入タイマーの動作時間は⏲タイマーボタンを押して設定することができます。

- タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

本体またはリモコンの≋風量調節ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します（風量ランプが点滅します）。

- ⌣左右首ふりボタン、〉上下首ふりボタン、♪リズム／おやすみ風ボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- 設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能

入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。

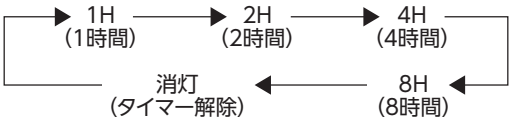
運転開始後、ボタンを最後に操作してから12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルする

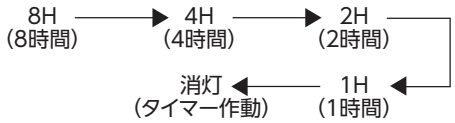
本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを何回か押してタイマーランプを消灯させます。

タイマーランプについて

タイマーランプは、本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。



入・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

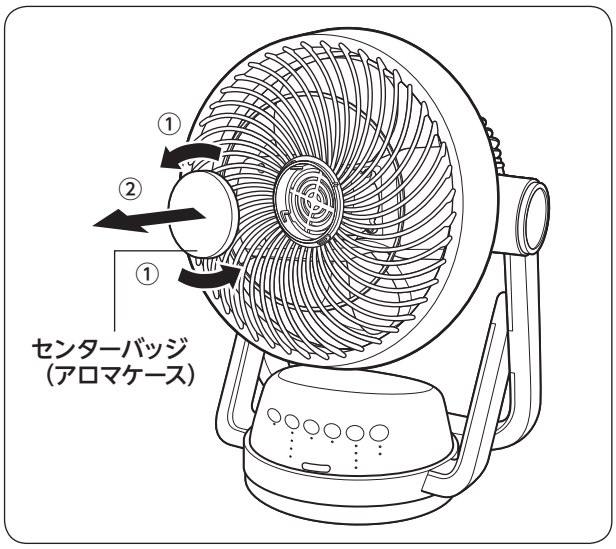


※ 入・切タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンの⏲タイマーボタンを何回か押してタイマーランプを消灯させます。

アロマオイルの使いかた

1. 前ガードに取り付けられているセンターバッジ(アロマケース)をはずす

①②：センターバッジ(アロマケース)を左に回して、手前に引いてはずします。

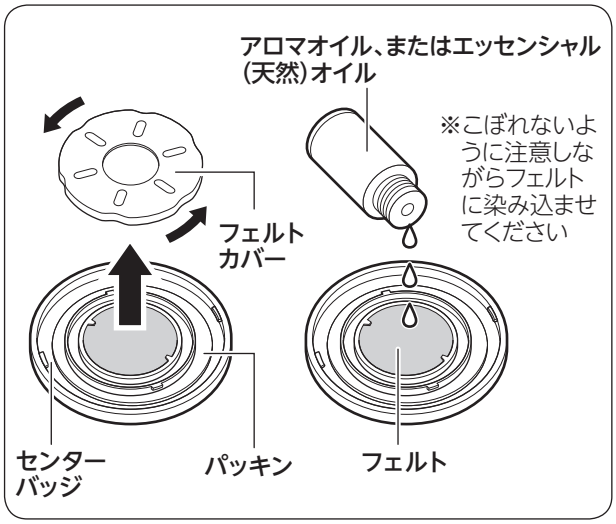


2. センターバッジ(アロマケース)からフェルトカバーをはずす

パッキンもフェルトカバーと一緒にはずれるため注意してください。紛失しないように、センターバッジ(アロマケース)側に取り付けておいてください。

3. センターバッジ(アロマケース)に取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

センターバッジ(アロマケース)にフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを、外側にこぼれないよう注意しながら、2〜3滴フェルトに染み込ませます。



⚠注意	• **アロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルをセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部からあふれるまで入れすぎない。** • **アロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルがセンターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側に付着した場合は必ず拭き取る。** • **センターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルが付着した状態で取り付けない。** • **本製品専用のフェルト以外は使用しない。** 本体の破損・故障の原因になります。

4. センターバッジにフェルトカバーを取り付ける

センターバッジ(アロマケース)とフェルトカバーの間に、必ずパッキンをはさんで取り付けてください。

5. 元の位置にセンターバッジ(アロマケース)を取り付ける

手順１と逆の順番で取り付けます。右に回して取り付けます。

6. 運転を開始する

5ページの「運転を開始／停止する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ風をお楽しみいただけます。

フェルトの交換

※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。

※ フェルトの交換の際は、右上図のようにフェルトカバーを左に回してはずします。その後、フェルトを取りはずし、フェルトを交換します。

※ フェルトは必ず右図のように、ツメの下になるように取り付けてください。パッキンが取り付けられていることを確認し（必ず取り付けてください）、フェルトカバーを右に回して取り付けてください。

※ フェルトはご購入時にセンターバッジ（アロマケース）に取り付けているもの以外に3枚付属しています。フェルトは洗って再使用することができません。

※ センターバッジ（アロマケース）は中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってください。

交換用フェルト

交換用のフェルトは別売しています。本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にお問い合わせください。

※交換用のフェルトは別売しております。

交換用フェルト		
商品名　フェルト　(4枚)	型番　AF-ZE1	

ドウシシャのパーツ購入はドウシシャマルシェのご利用が便利です。

ドウシシャのパーツ購入は ドウシシャマルシェ
DOSHISHA Marché ONLINE STORE 公式オンラインストアで
https://www.doshisha-marche.jp/

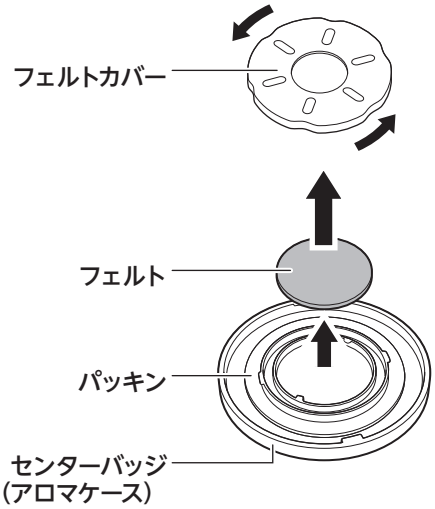
ドウシシャマルシェがご利用できない場合は、お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（➡裏表紙）へお問い合わせください。

⚠注意	**取りはずしたフェルトの扱いに注意する。** アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルはプラスチックを溶かしたりすることがあります。大切なものを取りはずしたフェルトに触れさせると、傷つけてしまうこともありますので十分注意してください。

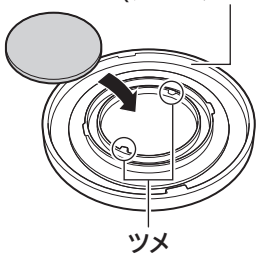
アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルなどについて

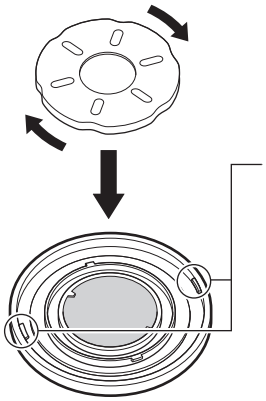
- 炎に近づけないでください。
- 子供の手の届かない場所に保存してください。
- 衣服などに付着した場合は、大量の水で洗い流した後、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- 手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- 取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル（天然）オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。

センターバッジ(アロマケース)に取り付けられているフェルトカバーを左に回すと、フェルトカバーがはずれます。



フェルトはセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部から浮き・はみだしがないようにツメの下になるように取り付けてください。





フェルトカバー装着時は、フェルトカバーのまわりにあるツメを、センターバッジ(アロマケース)の内側にあるツメよりも下に押し込み、右に回してセンターバッジ(アロマケース)にはめ込んでください。

※パッキンも忘れずに挟み込んでください

お手入れと保存

⚠警告	**お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。** 感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体に水をかけて洗わないでください。（感電・故障の原因になります。）

通常のお手入れ

前ガードと後ガードについたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

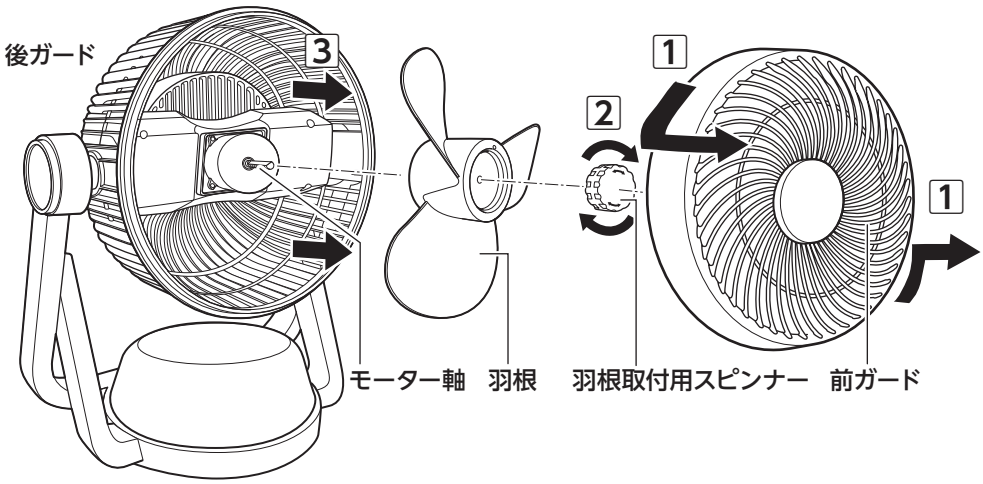
前ガード・羽根の取りはずしかた

前ガード・後ガードの内側・羽根の汚れは、前ガードと羽根を取りはずして行ないます。

- 前ガード全体を左に回し、止まったところから前に引いて取りはずします1。
- 前ガードを取りはずしたあと、羽根を押さえ、羽根取付用スピンナーを右回しにして取りはずし2、羽根を取りはずします3。
  ※羽根取付用スピンナーを回すときは、羽根を押さえないと、取りはずすことができません。
  ※羽根取付用スピンナーを紛失しないように注意してください。

羽根が抜けないときは

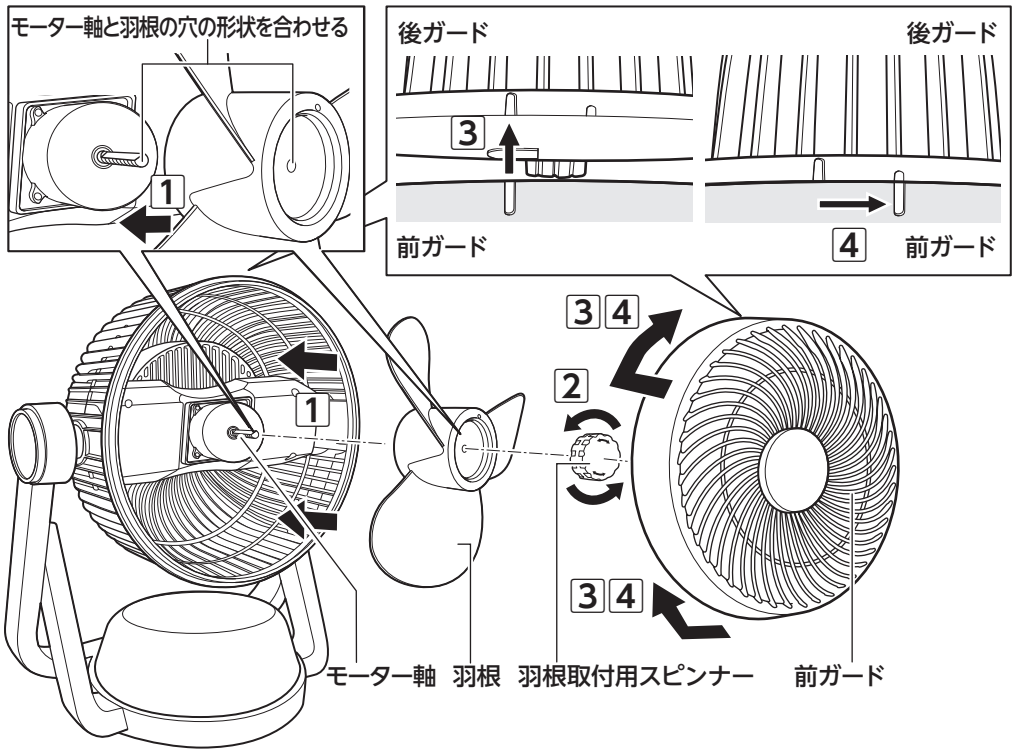
羽根取付用スピンナーを回して半分程度まではずした状態で、正面から両手の親指を羽根取付用スピンナーに当てて、両手残りの4指で羽根をつかみます。
両親指で羽根取付用スピンナーを押すようにして、羽根を引き上げます。ガクッと羽根が前に出たら、羽根取付用スピンナーを完全にはずして、羽根を引き抜きます。



前ガード・羽根の取り付けかた

- モーター軸の形状と羽根の穴の形状を合わせて羽根を取り付けます1。
- 羽根を取り付けたあと、羽根を押さえ、羽根取付用スピンナーを左に回して取り付けます2。
  ※羽根取付用スピンナーを回すときは、羽根を押さえないと、取り付けることができません。
  ※羽根取付用スピンナーを取り付けるとき、強くしめすぎると、破損させる恐れがありますのでご注意ください。
- 前ガードにある目印を、本体の上にある目印に合わせて前ガード全体を押し込み3、右に回して取り付けます4。

⚠警告	**前ガードを取り付けずに運転をしない。** 事故・故障の原因になります。
⚠注意	**羽根のエッジなどでけがをしないよう、十分に注意する。**



保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。
- 箱に入れるとき、前もって首ふり機能で前を向くように調節しておいてください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから電池を取りはずしておいてください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告	修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
羽根がまわらない	• 羽根が正しく取り付けられていない • 羽根がガードに当たっている	羽根やガードを正しく取り付ける（「前ガード・羽根の取り付けかた」(12ページ)）
突然運転が止まる	切り忘れ防止機能が働いている	本体またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れる
異音がする	前ガード、羽根などが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける（「前ガード・羽根の取り付けかた」(12ページ)）
	羽根取付用スピンナーがゆるんでいる	羽根取付用スピンナーを締めつける（「前ガード・羽根の取り付けかた」(12ページ)）
左右首ふりボタンまたは上下首ふりボタンを押すと、すぐに動き出さない・最初に指定角度よりも大きく首ふりをする	故障ではありません（内部の回路が現在の位置関係を確認するために、最初の1回の首ふりはすぐに動かなかったり、大きく首ふりをしたりします）	正常な首ふりが開始されるまでお待ちください
ボタンを押してもランプが点滅して動作しないことがある	入タイマー設定の状態になっている	タイマーボタンを何回か押して、入タイマーを終了させる
リモコンから操作できない	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	リモコンの電池が逆に入っている	電池を正しく入れる
	本体のリモコン受光部に信号が届いていない（リモコン受光部が本体の側面にあり、本体に向けて操作していても信号が届いていないことがあります）	リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向ける

長年ご使用のサーキュレーターはよく点検を

このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火･けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火･けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	製品の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

製品についてのご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】9:00〜17:00（祝日以外の月〜金曜日）

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター　〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html

ドウシシャのパーツ購入は　ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché ONLINE STORE 公式オンラインストアで

https://www.doshisha-marche.jp/